

長野県小県郡真田町埋蔵文化財調査報告書第10集

町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ

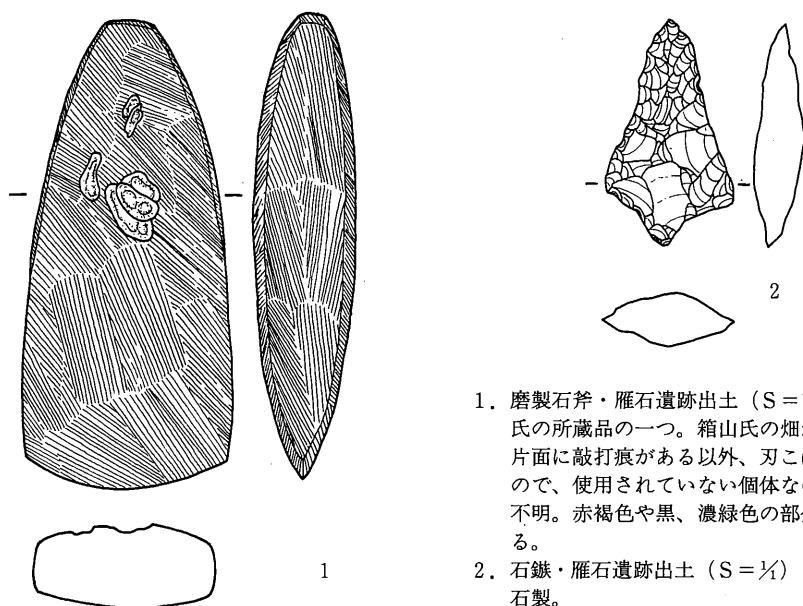
——平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書——

1997・3

真田町教育委員会

町内遺跡発掘調査報告書 I

—平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書—



1. 磨製石斧・雁石遺跡出土 (S=2/3) 石舟区箱山貫三郎氏の所蔵品の一つ。箱山氏の畑から出土したものという。片面に敲打痕がある以外、刃こぼれなどの使用痕がないので、使用されていない個体なのかもしれない。石質は不明。赤褐色や黒、濃緑色の部分がマール状にみられる。
2. 石鏃・雁石遺跡出土 (S=1/4) 調査時の表採品。黒曜石製。

現況確認調査で発見された主な遺物

1997・3

真田町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県小県郡真田町における埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う、平成7～8年度の試掘調査並びに立会い調査の報告書である。なお、「真田町誌歴史編(上)」の刊行に伴う遺跡の現況確認調査の結果も併せて報告する。
- 2 調査は真田町教育委員会が行った。なお、調査の費用は町費で対応した。
- 3 事務局及び調査の体制は以下のとおりである。

(事務局)	教育長	三井俊男
真 田 町	教育次長	芳沢孝夫
教育委員会	社会教育係長	荒井今朝信 (平成8年3月31日退任)
	社会教育係長	大塚久文 (平成8年4月1日着任)
	社会教育係	和根崎剛・川上麻子
(調査体制)	担当者	和根崎剛 (真田町教育委員会主事、長野県考古学会会員)
	調査員	川上麻子 (真田町教育委員会主事・平成8年3月31日退任)
	調査補助員	荻原喜久江・相馬敬子・田畑しず子・横沢初枝 (真田町臨時職員)
- 4 本文の執筆は和根崎剛が行った。
- 5 調査に係る資料は真田町教育委員会が保管している。
- 6 調査にあたって下記の方々のご指導・ご協力をいただいた。記して感謝申し上げたい。
安藤 裕・川上 元・倉沢正幸・酒井 佐・箱山貫三郎・西沢嘉一・町内各小学校 (順不同・敬称略)

凡 例

- 1 縮尺は各図毎に示した。
- 2 土層の色調は、「新版 標準土色帖」に基づいている。

目 次

例言・凡例・目次

第1章 立会い調査	3
1 原谷地B・C遺跡	3
2 南荒井遺跡	4
第2章 遺跡現況確認調査	5

第1章 立会い調査

1 原谷地B・C遺跡（遺跡番号36・125）

所在地 真田町大字長字菅平十ノ原1208-244

ほか

事業主体 真田町役場企画課（当時）

・環境観光課（当時）

事業名 菅平高原ラグビーランド建設事業

調査期間 平成7年5月2日

調査面積 約0㎡

協議関係者 真田町役場企画課・環境観光課、

真田町教育委員会



位置図

1 遺跡の環境と経過

原谷地B・C遺跡は真田町大字長字菅平に所在し、標高1313m前後を測る広大な緩斜面に位置する。原谷地B遺跡は旧石器時代の石刃や彫器、原谷地C遺跡は縄文時代の土器片が出土したというが、遺物の所在は不明である。

今回、真田町が行う菅平高原ラグビーランド建設事業に伴い、外周道路となる町道の拡幅工事が計画され、原谷地B・C遺跡の破壊が懸念されたため、建設予定地を含めて事前の表面採集調査を行うこととなった。

2 調査の結果

原谷地B・C遺跡とも畑地となっている。道路拡幅は遺跡に面しない部分で行うこととし、遺跡内に工事が及ぶ懸念は無くなったが、両遺跡とも耕作土の入れ替えが行われた際に、既に遺物包含層を失っていた。

また、ラグビーランド予定地内の包蔵地の有無を確認するため、表面採集調査を実施した。全域が畑地となっており、縄文土器片を1点のみ採集した。磨耗が著しく、他から流入したものと判断した。また、土層堆積状況の分かる3地点の露頭を観察したところ、全地点で耕作土直下にローム層がみられたので、耕作土の入れ替えが行われたものと判断した。このような状況から包蔵地は存在しないと判断した。

結果として、原谷地B・C遺跡の壊滅を確認することとなったが、今後このような耕作土の入れ替えなどに細心の注意を払っていきたい。



原谷地B遺跡



原谷地C遺跡

みなみあらい
2 南荒井遺跡 (遺跡番号96)

所在地 真田町大字本原字南荒井1050-14
事業名 個人住宅 及び
プレハブ型車庫兼作業場の建築
調査期間 平成9年2月14日
調査面積 0 m²
協議関係者 建築主、工事施工者、
真田町役場情報政策課・建設課、
真田町教育委員会



位置図

1 遺跡の環境と経過

南荒井遺跡は、真田町大字本原字南荒井に所在し、神川の河岸段丘上の緩斜面に位置する。平安時代の遺跡として登録されており、以前に土師器が表採されたという。

この度、個人住宅の建築が計画され、真田町役場情報政策課から該当地の埋蔵文化財の有無について照会があり、周知の南荒井遺跡の存在が判明したため、関係者で協議を行った。その結果、該当地で既に工事掘削が始まっていたため、立会い調査を実施することとなった。

2 調査の結果

掘削は地表から40cm程度のものであったが、既に地山であるローム層が現れていた。該当地は過去に掘削されていたらしく、表土の下に庭石状の1×1.5 m前後の平らな石が埋められ、住宅建築にあたり、この石を撤去する作業の最中であった。土層断面からもローム層の直上に表土が広がり、遺構・遺物は確認できなかった。また、建築予定地及び周辺の表面採集調査も実施したが、遺物は確認されなかった。



遺跡近景 (西から)



基本層序



石の除去状況

第2章 遺跡現況確認調査

真田町では町制40周年記念事業として、「真田町誌」の編纂を進めており、原始～古代の歴史を扱う「歴史編（上）」の刊行を目前に控え、教育委員会では平成8年3月～7月（計4日間）に、町内遺跡の現況確認調査を実施した。当町では平成9年度から国・県の補助金を得て、遺跡詳細分布調査を実施する予定であり、今回の確認調査はその予備調査としての役割も有している。

調査は昭和52年作成の遺跡分布地図を頼りに、登録されている遺跡の現況を調査した。調査は踏査によるもので、必要に応じて表面採集調査を併せて実施した。地図作成時以来の調査であったため、遺跡のいくつかは既に破壊され所在不明になっているなど、改めて詳細な分布調査の必要性を痛感した。

調査の結果を表に掲げる。なお、以下の点に注意されたい。

- ① あくまでも遺跡の現況を調査したもので、その範囲・性格等については以後の調査に委ねる。
- ② 長野県史の遺跡地名表に登録され、当町の分布地図には登録されていない遺跡は、詳細分布調査の際に所在等を確認することとしたが、それらは仮の遺跡番号を付して掲載した。
- ③ 最近、その取り扱いが検討されている中近世、近代の遺跡については、性格、重要度などを踏まえたうえで、選択して分布地図に登録する方針であるが、未だ検討段階のため、今回は仮の遺跡番号を付して掲載した。



小島沖遺跡（菅平）の現況



前熊久保岩陰遺跡（菅平）の現況



唐沢B遺跡（菅平）の現況



唐沢B遺跡発掘のようす（昭和43年・撮影 安藤 裕氏）

町内遺跡現況一覧表

平成8年7月3日現在

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
1	旧～	石戸山遺跡	菅平	土地改良により一部破壊 (文献1)	29	弥生	長寿園C遺跡	菅平	
2	縄文	西組E遺跡	菅平		30	縄文	唐沢A遺跡	菅平	(文献1)
3	縄文	西組F遺跡	菅平	(文献1)	31	旧石	唐沢B遺跡	菅平 十ノ原	昭和43年発掘調査(文献1・10・11)、現在は畑地となっている
4	旧～	西組D遺跡	菅平	(文献1)	32	縄文	唐沢C遺跡	菅平	現在は畑地となっている (文献1)
5	縄～	西組C遺跡	菅平		33	旧～	唐沢D遺跡	菅平	(文献1)
6	縄～	西組B遺跡	菅平		34	縄文	唐沢E遺跡	菅平	
7	旧～	西組A遺跡	菅平		35	縄文	唐沢F遺跡	菅平	フロンティア牧場遺跡を改称、牧場建物建設にて一部破壊(文献1)
8	縄～	中組A遺跡	菅平	昭和35年発掘調査(文献2)、 住宅建設に伴い一部破壊	36	旧石	原谷地B遺跡	菅平 十ノ原	土地改良で全壊(文献1・12)
9	平安	山本畑遺跡	菅平	昭和51年発掘調査(文献3・4・5・6)、 一部が住宅となっている	37	縄文	原谷地A遺跡	菅平 十ノ原	(文献1)
10	縄文	玉井山B遺跡	菅平	(文献1)	38	縄～	唐沢岩陰遺跡	菅平 十ノ原	昭和38年発掘調査(文献1・13・14)、 県指定史跡
11	縄文	玉井山A遺跡	菅平		39	旧～	三日城遺跡	菅平 三日城	(文献1・15)
12	旧～	学校敷地遺跡	菅平	菅平小中学校校舎改築工事により 一部破壊(文献1・7・8)	40	縄文	稻荷神社遺跡(お いなりさん遺跡)	菅平	リフト建設により半壊、現在は グレンダ(文献1)
13	縄文	矢追別荘遺跡	菅平		41	旧～	小島沖遺跡	菅平	土地改良により一部破壊、現在は 畑地となっている(文献1・16)
14	縄文	小坂別荘裏遺跡	菅平	工事の建設により一部破壊	42	旧石	向組A遺跡	菅平	資材置き場となっている (文献1)
15	弥生	東組G遺跡	菅平	土地改良により全壊	43	縄～	功玉社遺跡	菅平	
16	縄文	東組A遺跡	菅平	(文献1)	44	縄文	三本松A遺跡	菅平 十ノ原	
17	旧～	東組B遺跡	菅平		45	縄文	三本松B遺跡	菅平 十ノ原	
18	縄～	東組C遺跡	菅平		46	縄～	スモン原遺跡	菅平 十ノ原	現在、畑地となっている
19	縄文	東組D遺跡	菅平	昭和26・37年発掘調査(文献1・2・9)、 住宅建設で一部破壊	47	平安	うずら沢A遺跡	菅平 十ノ原	別荘建設のため一部破壊
20	縄文	東組E遺跡	菅平	土地改良により一部破壊 (文献1)	48	縄～	うずら沢B遺跡	菅平 十ノ原	(文献1・17)
21	縄文	東組F遺跡	菅平	(文献1)	49	縄～	陣の岩岩陰遺跡	菅平 十ノ原	昭和41年発掘調査(文献1・18・19・20・21)
22	縄文	郡界遺跡	菅平	グラウンド建設により全壊	50	縄～	前熊久保岩陰遺跡	菅平 十ノ原	異状なし
23	縄～	産子清水遺跡	菅平	テニスコート・駐車場になり 全壊	51	縄文	土合遺跡	大日向 土合	現在、畑地となっている
24	縄文	白樺荘前遺跡	菅平	駐車場建設の際に半壊 (文献1)	52	縄文	和熊A遺跡	大日向 和熊	
25	旧～	旧試験場西口遺跡	菅平		53	縄文	和熊B遺跡	大日向 和熊	
26	縄文	駐車場前遺跡	菅平 十ノ原	公園となり一部破壊(文献1)	54	縄文	岩屋観音洞窟遺跡	角間 岩谷	観音堂が建てられている
27	縄～	長寿園A遺跡	菅平 十ノ原		55	平安	モロウド洞窟遺跡	角間 岩谷	
28	縄～	長寿園B遺跡	菅平	昭和49年発掘(確認中)	56	縄文	芳の平遺跡	角間 芳の平	現在、畑地となっている

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
57	縄文	大明神遺跡	角間 角間	現在、畑地となっている	85	縄文	松葉田遺跡	戸沢 松葉田	現在、畑地となっている
58	縄文	日向A遺跡	角間 日向		86	縄文	石舟遺跡	石舟	昭和49年発掘調査(文献25・26)
59	縄文	日向B遺跡	角間 日向		87	縄文	雁石遺跡	石舟 雁石	昭和49・60年発掘調査(文献25・26)、一部畑地で遺跡が残る
60	平安	角間遺跡	角間 角間		88	縄文	山遠家遺跡	横尾 山遠家	現在、畑地となっている
61	中世	日向畑遺跡	角間 日向	昭和46年発掘調査(文献22・23・24)、町指定史跡	89	縄文	四日市遺跡	横尾 四日市	平成元・5～7年発掘調査(文献27・28・29・30)、一部畑地で遺跡が残る
62	縄文	上屋敷遺跡	横沢 上屋敷	現在、畑地となっている					
63	縄文	米原遺跡	角間 米原		90	円墳	荒井古墳	荒井	所在不明
64	縄文	橋場遺跡	角間 橋場		91	円墳	的山古墳	十林寺 西畝	所在不明
65	平安	上法性寺遺跡	横沢	住宅の増改築の際に五輪塔が出土したという	92	円墳	下塚1号墳	下塚	りんご畑の中にあり、石室が露呈
66	縄文	真田遺跡	真田	現在、畑地となっている			下塚2号墳	下塚	半壊、石仏等が並んでいる
67	縄文	鳴尾遺跡	入軽井沢		93	縄文	山崎遺跡	中原 山崎	宅地化が進んでいるので危惧される
68	旧石	新地蔵峠遺跡	入軽井沢		94	縄文	竹室遺跡	竹室	宅地化が進んでいるので危惧される
69	縄文	旁部遺跡	入軽井沢		95	縄文	表木遺跡	表木	団地造成にともない一部破壊
70	縄文	サルガ城遺跡	入軽井沢		96	平安	南荒井遺跡	南荒井	土地改良で一部破壊(文献12)
71	縄文	城山遺跡	入軽井沢		97	円墳	北白庭古墳	北白庭	
72	中世	唐沢遺跡	入軽井沢		98	円墳	殿蔵院古墳	殿蔵院	
73	縄文	前の田遺跡	入軽井沢		99	円墳	広山寺古墳	上原 南町上	町指定史蹟として保護されている
74	平安	樋口遺跡	入軽井沢				竹藪塚古墳	上原 南町上	一部が竹藪、石室が露呈している
75	縄文	猛沢遺跡	入軽井沢				(こふじ塚古墳)	上原 南町上	墳丘、石室はない、こふじ塚の伝承に基づく石碑がある、古墳ではないと推定される
76	縄文	赤石B遺跡	中横道 赤石		100	縄文	南町上遺跡	上原 南町上	宅地化が危惧される
77	縄文	赤石A遺跡	中横道 赤石		101	円墳	北番匠古墳	北番匠	所在不明
78	縄文	小裕遺跡	中横道 小裕		102	平安	北番匠B遺跡	南番匠	宅地となり全壊(文献27)
79	縄文	上平遺跡	穴沢 上平		103	平安	北番匠A遺跡	南番匠	
80	縄文	上日影遺跡	中横道上日影		104	平安	藤沢遺跡	藤沢	昭和49年発掘(文献25・31)
81	縄文	宮の前遺跡	萩 宮の前		105	円墳	藤沢1号墳	藤沢	町指定史蹟として保護されている
82	縄文	中村遺跡	萩 中村	J A傍陽支所地となり全壊			藤沢2号墳	藤沢	町指定史蹟として保護されている
83	縄文	早稲田遺跡	曲尾 早稲田		106	円墳	町下1号墳	上原 町下	奥壁のみを残す
84	縄文	柳又遺跡	戸沢 柳又	住宅となり一部破壊					

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
106	円墳	町下2号墳	上原 町下	石室は残る	仮128	縄文	たな池遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下3号墳	上原 町下	側壁、天井石が残る	仮129	縄文	ジャンプ台遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下4号墳	上原 町下	所在不明	仮130	縄文	大洞遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下5号墳	上原 町下	奥壁、側壁、天井石が残る	仮131	縄文	北信牧場境の不動遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
107	円墳	桜林1号墳	東出早	頂部削平され、石室が見えている	仮132	縄文	第三滝傍岩窟遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	桜林2号墳	東出早	奥壁、側壁が残る	仮133	縄文	第二牧場遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
108	円墳	鶴の子田古墳	下原	所在不明	仮134	縄文	大明神沢遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中 (文献33・34)
109	円墳	九久館1号墳	下原 九久館	側壁、天井石が残る	仮135	縄文	北信牧場事務所南遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	九久館2号墳	下原 九久館	所在不明	仮136	縄文	北信牧場北西の小坂遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
110	円墳	矢倉城古墳	東出早	石室の一部が残存、個人宅の庭にあり	仮137	縄文	北信牧場北西の上原遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
111	円墳	西出早1号墳	西出早	側壁、天井石の一部が残存、道路端にあり、五輪塔などが並ぶ	仮139	旧～	常田氏畑遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	西出早2号墳	西出早	側壁、天井石の一部が残存、個人宅の庭にあり	仮140	縄文	鳥居峠遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
112	円墳	村中古墳	下原 村中	竹藪のなかに天井石と思われる石があり、祠がまつられている	仮141	縄文	四阿山中腹遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
113	円墳	羽毛田古墳	下原 羽毛田	所在不明、壊滅したらしい	仮142	縄文	唐沢第四岩陰遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
114	円墳	小沼長者古墳	下原 西田	所在不明(文献32)	仮143	縄文	中組大川端遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
115	縄文	境田遺跡	下原 境田	平成6年発掘調査(文献32)	仮144	縄文	下沢沢遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
116	弥生	西組洞穴遺跡	菅平	昭和34年発掘調査(確認中)	仮145	古墳	しよてばら遺跡	菅平 ノノ原	菅平高原自然館に遺物有り
117	旧石	屋敷畑遺跡	菅平		仮146	縄文	のぼろ遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
118	縄文	大明神洞窟遺跡	菅平 ノノ原		仮147	縄文	三本松A遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
119	縄文	秋葉山遺跡	菅平		仮148	縄文	唐沢第二洞窟遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
120	縄文	ダボス下遺跡	菅平 ノノ原		仮149	縄文	生物実験センター裏遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
121	古墳	酒井畑遺跡	菅平		仮150	縄文	イタゴヤ遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
122	弥生	燕畑遺跡	菅平		仮151	縄文	田中別荘内遺跡	菅平 ノノ原	遺跡の存在について調査中
123	縄文	大松山遺跡	菅平		仮152	縄文	富沢畑遺跡	菅平 ノノ原	菅平高原自然館に遺物有り (文献1)
124	縄文	奥ダボス遺跡	菅平 ノノ原		仮153	縄文	東組1遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
125	縄文	原谷地C遺跡	菅平	土地改良により全壊(文献12)	仮154	縄文	木戸沢遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
126	縄文	原谷地D遺跡	菅平		仮155	縄文	善光寺窪遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
127	中～	西田遺跡	下原 西田	平成6年発掘調査(文献32)	仮156	旧～	山の神遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中

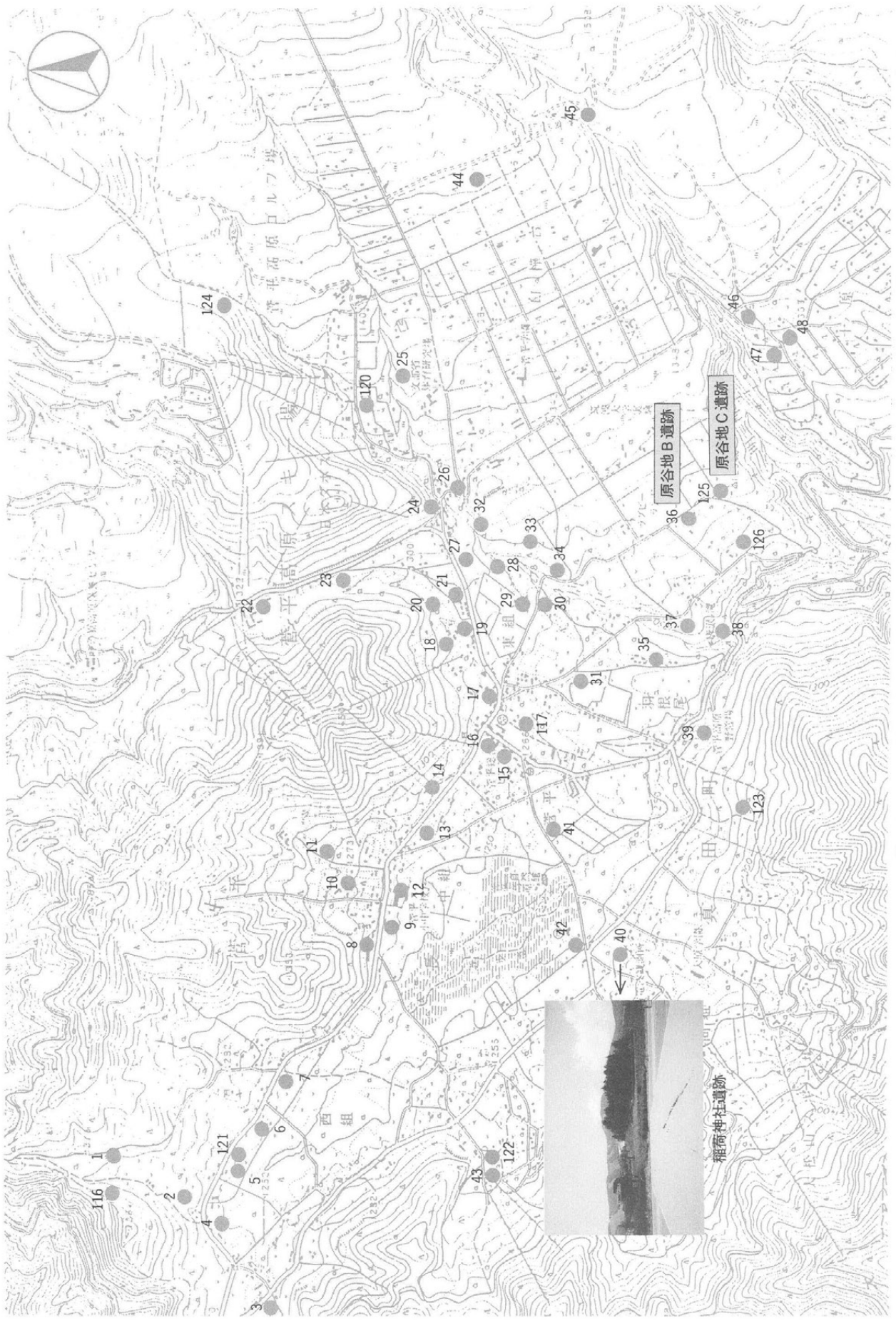
番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
仮157	弥生	鷹屋岩陰遺跡	大日向 和熊	長小学校に遺物有り	仮182	縄～	上平遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮158	縄～	善慶遺跡	横沢 善慶	長小学校に遺物有り	仮183	縄文	南郷沢遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮159	縄文	松尾城付近遺跡	横沢	遺跡の存在について調査中	仮184	縄文	北郷沢遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮160	平安	長谷寺遺跡	横沢 長谷寺	遺跡の存在について調査中	仮185	縄～	上原遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮161	縄文	小学校前遺跡	真田	長小学校に遺物有り	仮186	縄～	赤井開墾地遺跡	赤井	遺跡の存在について調査中
仮162	縄～	蓮合遺跡	横尾 蓮台	89四日市遺跡に含める	仮187	円墳	番匠古墳	番匠	古墳の存在について調査中
仮163	縄文	熊久保	十林寺 熊久保	遺跡の存在について調査中	仮188	円墳	藤沢塚古墳	大畑 藤沢	古墳の存在について調査中
仮164	旧～	甲石遺跡	十林寺 甲石	遺跡の存在について調査中	仮189	円墳	広崎古墳	上原 南町上	古墳の存在について調査中
仮165	縄文	軽井沢遺跡	入軽井沢	遺跡の存在について調査中	仮190	円墳	西畝古墳	中原	古墳の存在について調査中
仮166	縄文	弾正遺跡	穴沢	遺跡の存在について調査中	仮191	中世	真田氏本城址	十林寺 熊久保	町指定史跡(文献35)
仮167	縄文	峯山開墾地遺跡	萩	遺跡の存在について調査中	仮192	中世	松尾城址	角間	町指定史跡(文献35)
仮168	縄文	峯山遺跡	萩	遺跡の存在について調査中	仮193	中世	横尾城址	横尾	町指定史跡(文献35)
仮169	縄文	東太郎山遺跡	大庭	遺跡の存在について調査中	仮194	中世	内小屋城址	横尾	町指定史跡(文献35)
仮170	縄文	上沖遺跡	田中 上沖	遺跡の存在について調査中	仮195	中世	根小屋城址	曲尾	町指定史跡(文献35)
仮171	縄文	田中遺跡	田中	遺跡の存在について調査中	仮196	中世	洗馬城址	萩	町指定史跡(文献35)
仮172	縄～	南番匠遺跡	南番匠	遺跡の存在について調査中	仮197	中世	天白城址	赤井	町指定史跡(文献35)
仮173	縄～	堰合遺跡	下原	遺跡の存在について調査中	仮198	中世	真田氏館跡	小玉上郷沢	県指定史跡(文献36)
仮174	縄文	大畑遺跡	大畑	遺跡の存在について調査中	仮199	中世	真田幸隆公夫妻の墓	真田 長谷寺	宝篋印塔・長谷寺境内にある
仮175	縄文	地藏堂遺跡	下原	遺跡の存在について調査中	仮200	中世	真田昌幸公の墓	真田 長谷寺	宝篋印塔・長谷寺境内にある
仮176	縄文	九々館遺跡	下原 九々館	遺跡の存在について調査中	仮201	中世	真田信綱公の墓	横尾 信綱寺	宝篋印塔・信綱寺境内にある
仮177	縄～	東出早遺跡	東出早	遺跡の存在について調査中	仮202	近世	下原郷倉跡	下原 西田	現存し、現在も使用
仮178	縄文	羽毛田遺跡	下原 羽毛田	遺跡の存在について調査中	仮203	近世	小沼求女氏館跡	下原 西田	古文書に位置が記載、調査したが遺構は検出されず(文献32)
仮179	古～	町上遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮204	近代	菅ノ沢風穴跡	三島平	入口が現存、内部も良好
仮180	縄～	花水遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮205	近代	氷沢風穴跡	中組	
仮181	縄文	北赤井遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮206	近代	とち平風穴跡	中組	

【真田町の遺跡に関する主な文献】

※番号は表中の文献番号と符合

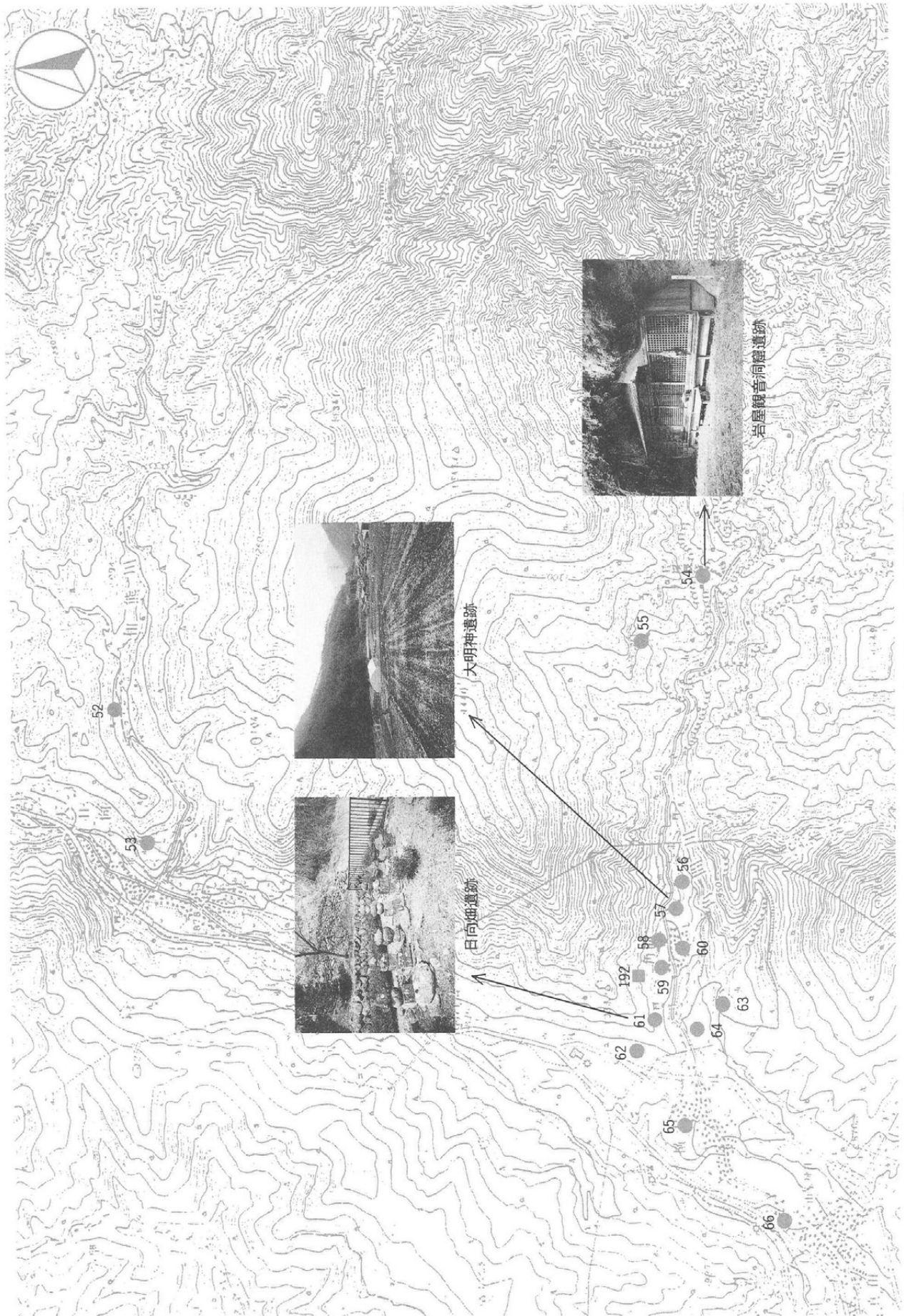
- 1 菅平研究会 1970 『菅平の古代文化』
- 2 八幡一郎・上野佳也 1967 「長野県菅平東組の早期縄文式文化遺跡について」『考古学雑誌』48-2
- 3 坂口益次 1976 「山本畑遺跡—平安時代住居址」『あずまや』15
- 4 川上 元・坂口益次・小原 等・飯島繁夫・林 和男 1977 「菅平高原山本畑遺跡緊急発掘調査報告『長野県考古学会誌』29
- 5 川上 元 1978 「山本畑遺跡」『日本考古学年報』29
- 6 真田町教育委員会 1977 『山本畑遺跡緊急発掘調査報告』（文献4の別刷り）
- 7 森嶋 稔 1977 「菅平・学校敷地遺跡出土の旧石器文化資料の意味するもの」『上田・小県』29
- 8 川上 元 1968 「長野県菅平高原の先土器文化遺跡(1)・(2)」『信濃』Ⅲ20-4・20-11
- 9 五十嵐幹雄 1954 「長野県小県郡長村菅平東組遺跡調査概報」『信濃』Ⅲ6-7
- 10 森嶋 稔 1968 「長野県小県郡真田町唐沢B遺跡の調査」『日本考古学協会43年度大会発表要旨』
- 11 森嶋 稔 1969 「小県郡唐沢B遺跡」『信濃考古』28
- 12 真田町教育委員会 1997 『町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
- 13 永峯光一・樋口昇一 1967 「長野県唐沢岩陰」『日本の洞穴遺跡』
- 14 長野県教育委員会 1977 「菅平唐沢岩陰遺跡」『県指定文化財調査報告』
- 15 川上 元 1967 「部分異形磨製石器の新資料」『信濃』Ⅲ19-4
- 16 小原 等 1973 「小県郡真田町菅平小島沖遺跡出土の石器」『長野県考古学会誌』16
- 17 下平秀夫 1973 「ウズラ沢B遺跡出土の土器」『土師式土器集成本編』3
- 18 丸山敬一郎 1966 「菅平洞窟遺跡（陣の岩遺跡）予備調査概報」『信濃考古』15
- 19 丸山敬一郎 1967 「菅平陣の岩遺跡について」『信濃考古』16・17
- 20 丸山敬一郎 1968 「長野県菅平陣の岩岩陰遺跡調査概報」『信濃』Ⅲ20-5
- 21 永峯光一 1971 「長野県小県郡陣の岩岩陰」『日本考古学年報』19
- 22 川上 元・小林幹男 1973 「真田町・日向畑遺跡の発掘調査」『上小考古』2
- 23 川上 元 1973 「日向畑遺跡」『日本考古学年報』24
- 24 真田町教育委員会 1973 『真田町日向畑遺跡発掘調査報告書』
- 25 真田町教育委員会 1975 『雁石・藤沢』
- 26 川上 元 1976 「雁石遺跡」『日本考古学年報』27
- 27 真田町教育委員会 1990 『四日市遺跡』
- 28 真田町教育委員会 1996 『四日市遺跡Ⅱ』
- 29 真田町教育委員会 1997 『四日市遺跡Ⅲ』
- 30 和根崎剛 1996 「真田町四日市遺跡出土の玦状耳飾り」『長野県考古学会誌』80
- 31 川上 元 1976 「藤沢遺跡」『日本考古学年報』27
- 32 真田町教育委員会 1996 『境田遺跡・西田遺跡』
- 33 神田五六 1938 「石器時代遺跡菅平洞窟に就いて」『信濃』17-1
- 34 栗岩英治 1939 「菅平弥生式洞窟遺跡」『県史蹟報告』20
- 35 真田町教育委員会 1982 『真田氏城跡群』
- 36 真田町教育委員会 1992 『真田氏館跡』

※参考資料：長野県史刊行会 1981 『長野県史考古資料編1-1 遺跡地名表』

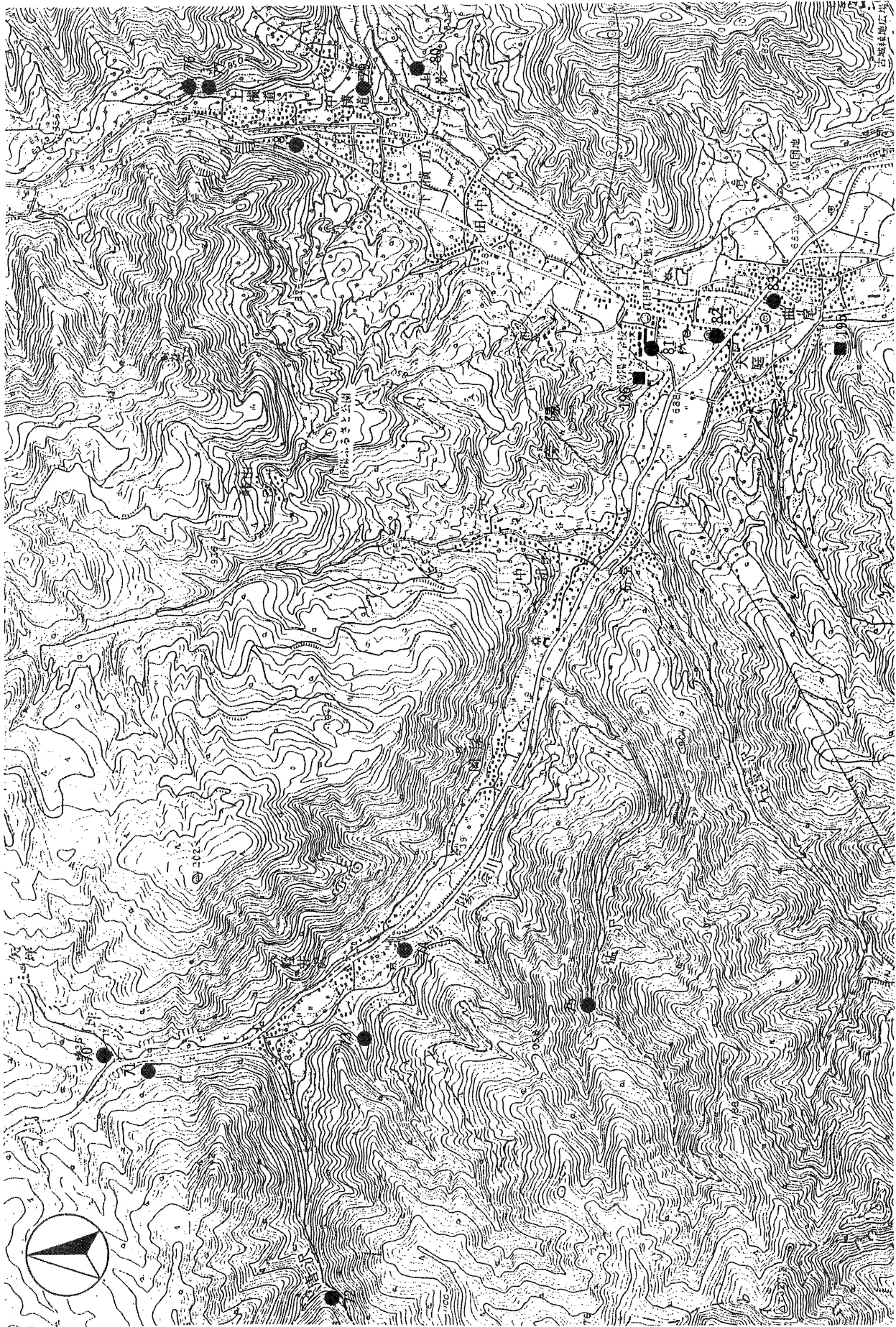


第1図 真田町遺跡分布地図 その1 (菅平地区)

S = 1 / 25,000

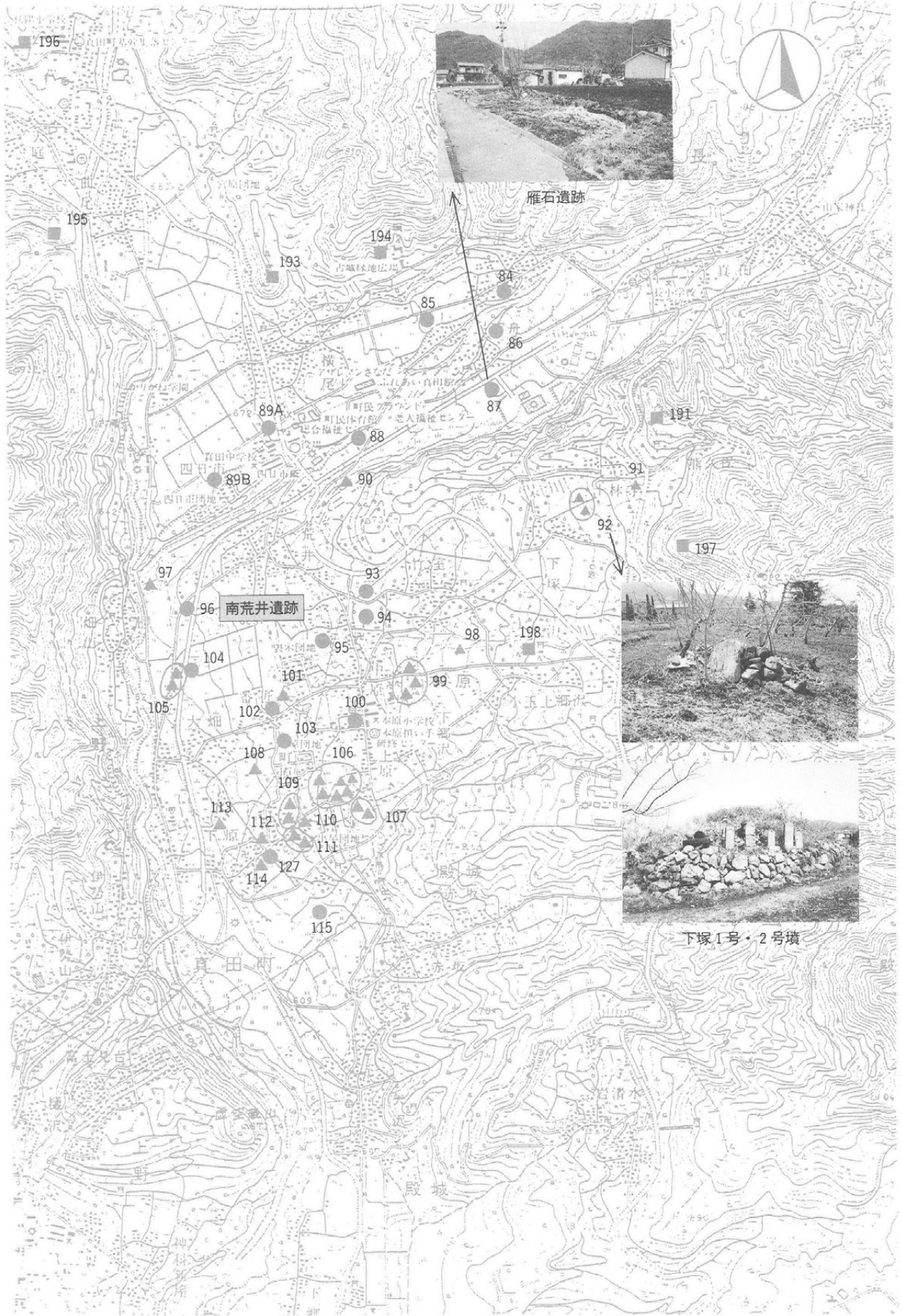


第2図 真田町遺跡分布地図 その2 (長地区①)



第3図 真田町遺跡分布地図 その3 (傍陽地区)

S = 1/25,000



第4図 真田町遺跡分布地図 その4 (長地区②・本原地区)

S = 1 / 25,000

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせきはつくつちょうさほうこくしょ いち
書名	町内遺跡発掘調査報告書 I
副書名	－平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書－
巻次	
シリーズ名	真田町埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第10集
著者名	和根崎 剛
編集機関	真田町教育委員会
所在地	☎ 386-22 長野県小県郡真田町大字長7199-1 ☎0268-72-2655
発行年月日	1997年3月21日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はらやち いせき 原谷地B遺跡	ながのけんちいさがたぐん 長野県小県郡 さなだまちおおあざおき 真田町大字長 あざすがだいら 字菅平		36			1995年 5月2日		菅平高原ラグ ビーランド建 設
はらやち いせき 原谷地C遺跡	おおあざおきあざすがだいら 大字長字菅平		125			1995年 5月2日		同上
みなみあらい いせき 南荒井遺跡	おおあざおき 大字長 あざみなみあらい 字南荒井		96			1997年 2月14日		個人住宅建設

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
原谷地B遺跡	包蔵地	旧石器時代	既に破壊	検出されず	立会い・表採調査を実施
原谷地C遺跡	包蔵地	縄文時代	既に破壊	検出されず	立会い・表採調査を実施
南荒井遺跡	包蔵地	平安時代	既に破壊	検出されず	立会い・表採調査を実施

真田町埋蔵文化財発掘調査報告書

- | | | | |
|------|------|----------------------|---|
| 1973 | 第1集 | 『日向畑遺跡』 | 中世の墳墓群の調査。五輪塔などが出土。 |
| 1975 | 第2集 | 『雁石・藤沢』（品切） | 縄文後晩期の配石遺構、石棺墓を検出。称名寺式土器の優品、ミニチュア土器、土製耳飾等が出土。 |
| 1977 | 第3集 | 『山本畑遺跡緊急発掘調査報告書』（品切） | 平安時代の住居址2棟。須恵器の耳皿。 |
| 1982 | 第4集 | 『真田氏城址群』（残部僅少） | 真田氏本城、横尾城などの概要調査報告書。 |
| 1990 | 第5集 | 『四日市遺跡』 | 縄文中期後葉、平安時代の集落址の調査。加曾利E式土器、唐草文系土器が主体。 |
| 1992 | 第6集 | 『真田氏館跡』 | 真田氏館跡の調査。厩跡、土塁等を確認。 |
| 1996 | 第7集 | 『四日市遺跡II』 | 縄文前期中葉、中期後葉、古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。関山式土器、玦状耳飾り、加曾利E式土器、唐草文系土器などが出土。花積下層式土器の搬入品。古墳時代後期の一括資料など。 |
| 1996 | 第8集 | 『境田遺跡・西田遺跡』 | 古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。石製模造品、石組みの煙道が出土。 |
| 1997 | 第9集 | 『四日市遺跡III』 | 縄文前期中葉、古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。有尾式土器、諸磯a式土器、北白川下層II式土器、玦状耳飾りなどが出土。 |
| 1997 | 第10集 | 『町内遺跡発掘調査報告書I』 | |

町内遺跡発掘調査報告書 I

—平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書—

1997年3月21日 発行

編集 真田町教育委員会

発行 真田町教育委員会

印刷 ほおずき書籍株式会社

